

【資料】

岡山県における新型コロナウイルス感染症の発生状況について（2020年）  
 COVID-19 Surveillance Reports in Okayama Prefecture (2020)

北村雅美, 木村英治, 望月 靖

KITAMURA Masami, KIMURA Hideharu, MOCHIZUKI Yasushi

[キーワード：新型コロナウイルス感染症, サーベイランス, クラスター]

[Key words : COVID-19, Epidemiological surveillance, Cluster]

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、急速に世界的に流行が拡大した。2020年1月30日、世界保健機関（WHO）により「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」が宣言され、3月11日にはパンデミック（世界的な大流行）の状態にあるとの表明がなされた<sup>1)</sup>。日本国内では1月16日に初めて患者が確認され、その後幾度かの感染者の大規模な発生を経て、全国的な流行拡大が進んでいる。なお、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第104号。以下「感染症法」という。）による当該感染症の位置づけとして、当初感染症法第14条第1項に基づく疑似症サーベイランスの対象とされたが、2月1日に感染症法第6条第8項に基づく指定感染症に指定された（その後、2021年2月13日に新型インフルエンザ等感染症に法的位置づけが変更されている。）。岡山県も流行に関して例外ではなく、多くの感染者が発生している。ここでは2020年の発生状況を概観する。

2 感染症発生動向調査

2.1 調査方法

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS：Health Center Real-time information-

sharing System on COVID-19）に報告された各関係機関からの感染者情報を元にした。全国のデータは厚生労働省のオープンデータ等を用い、岡山県のデータはHER-SYSの感染者情報に加えて県の公表資料を用い、解析を行った。

2.2 調査期間

2020年1月1日～12月31日とした。公表資料から作成したグラフは公表日を基準とした。なお、岡山県の死亡者については、2021年7月27日時点で、2020年中に死亡した者としてHER-SYSに入力されていたものをデータとして用いた（死亡年月日不明の者は除く。）。

3 結果

3.1 月別発生状況（公表資料より）

岡山県では、2020年3月22日に初めての新型コロナウイルス感染症患者の発生が公表された（発症日は3月17日、海外渡航歴あり。）。2020年中はその後増減を2回繰り返した。この間、学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第20条に基づく全国一斉の臨時休業（小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校）の要請に基づき、岡山県においても3月2日から春季休業終了まで休業措置がとられた。また、岡山県に係る緊急事態宣言は、4月16日から5月14日まで適用された。10月以降感染者数が急増し、12月は最多となる764名が公表され、2020年の合計は1,363名であった。岡山県の月別発生状況（図1）

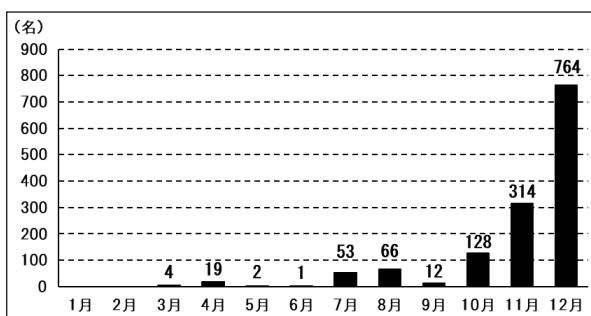


図1 月別発生状況（岡山県）

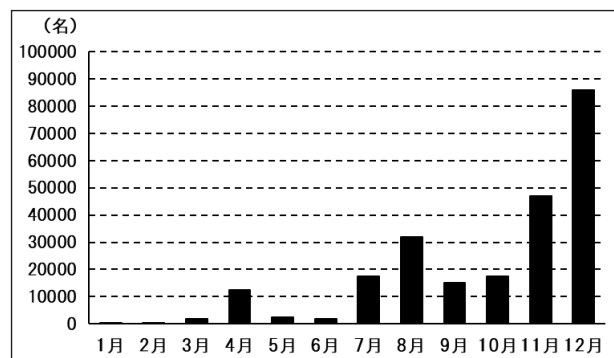


図2 月別発生状況（全国）

は、全国（図2）とほぼ同様の推移を示した。

### 3.2 性別、年齢階級別発生状況（公表資料より）

調査期間における岡山県の感染者の性別は、男性632名、女性647名、性別非公表84名であった。年齢階級別では、20歳代が290名で最も多く、次いで40歳代174名、30歳代172名、50歳代159名の順であった（図3）。全国の感染者の性別は、2021年1月6日18時時点までの状況を図4に示す。岡山県と全国の発生状況を比較すると、20歳代に次いで30～40歳代が多かったのは同様であったが、一方で岡山県では10歳未満が少なく、70歳代が多い傾向であった。

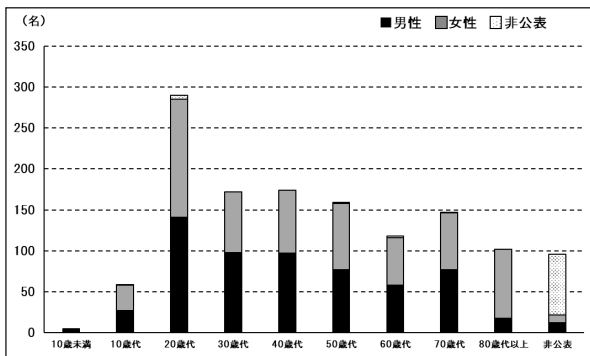


図3 年齢階級別発生状況（岡山県）

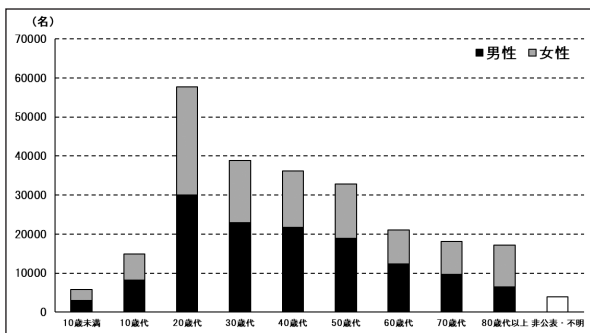


図4 年齢階級別発生状況（全国, 2021年1月6日18時時点）

### 3.3 流行曲線（公表資料より）

発症日を基準とした流行曲線（無症状病原体保有者を除く。）では、感染者数のピークは12月14日の33名、次いで12月30日の32名、12月11日の31名の順が多かった（図5）。また、診断日を基準とした流行曲線では、感染者数のピークは12月19日の111名が最も多かった（図6）。潜伏期間が1～14日、暴露から発症までは平均5日程度とされているので、12月初旬から中旬に感染した人が多かったと推察され、これは、岡山県におけるいわゆる「第3波」の流行の拡大時期に当たると考えられる。

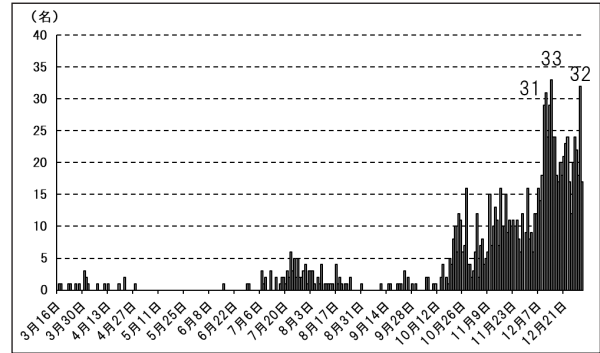


図5 流行曲線（発症日ベース）

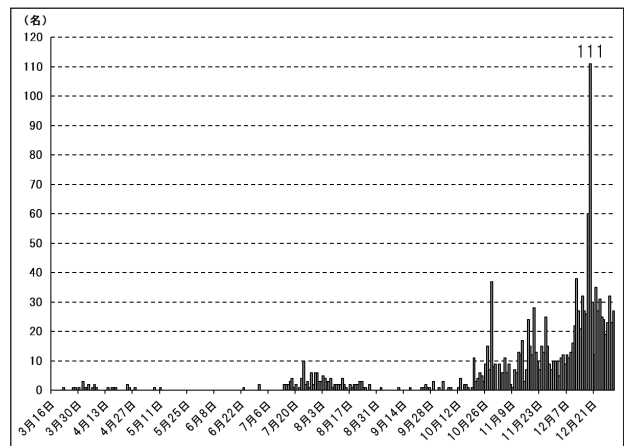


図6 流行曲線（診断日ベース）

### 3.4 クラスター種類別発生状況（公表資料より）

岡山県で発生したクラスターは、施設別では、「高齢者施設」の感染者数156名（発生数7件）が最も多く、次いで「会社・事業所」の87名（3件）、「接待を伴う飲食店」の82名（6件）の順であった（図7）。このうち、クラスター当たりの感染者数が最も多かったのは、12月に発生した「会社・事業所」の75名であった。また、週別では、第51週（12/14～12/20）の感染者数192名（8件）が、感染者数、発生件数ともに最も多かった（図8）。

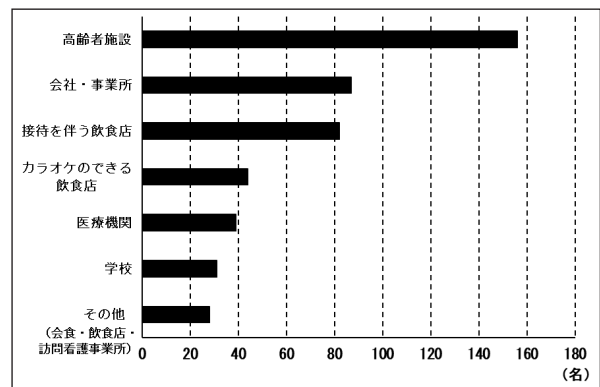


図7 クラスター発生状況（施設別）

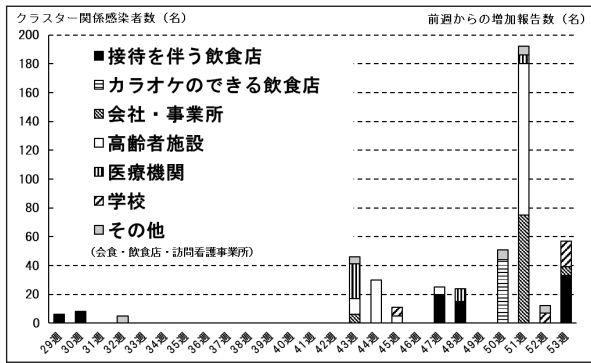


図8 週別・クラスター発生状況

### 3.5 年齢階級別死亡者割合

2020年中に死亡した者としてHER-SYSに入力されていた18名の年齢階級のグラフを図9に示す。全国については、2021年1月6日18時時点で厚生労働省が公開したデータに基づいて作成した年齢階級別死亡者数のグラフを図10に示す。死亡は、全国と同様、70歳代以上の高齢者に多く認められた。

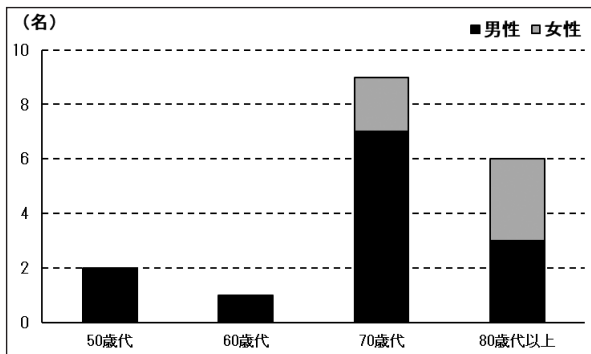


図9 年齢階級別死亡者数 (岡山県, 2021年7月21日時点でHER-SYSに入力があった2020年中の死亡者数)

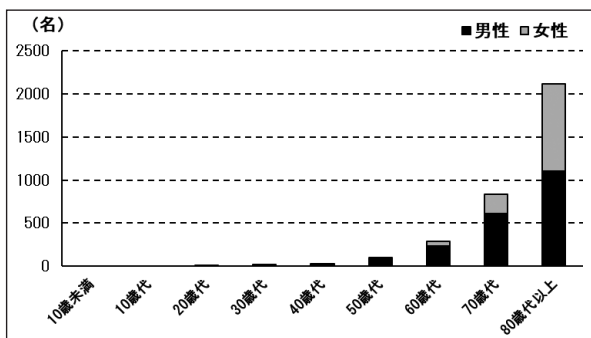


図10 年齢階級別死亡者数 (全国, 2021年1月6日18時時点)

### 3.6 変異株の発生

アルファ株 (英国で最初に検出された変異株, VOC-202012/01) は、2020年12月上旬に英国で最初に報告された変異株である<sup>2)</sup>。イングランド南東部で確認され、

英国の感染者の急増の原因となり、その後世界各地で確認されることとなった。日本では2020年12月25日に、英国からの帰国者の空港検疫の検査陽性者から初めて検出された<sup>3)</sup>。なお、岡山県では、2021年2月上旬に発症した患者から初めてアルファ株が確認されたことから、2020年末までは県内への侵入はなかったものと考えられる<sup>4)</sup>。

## 4 まとめ

新型コロナウイルス感染症については、岡山県では2020年3月から感染者が発生し、その後は全国の流行状況に追従する形で流行の波を経験することとなった。2020年末までは、従来株のみが流行しており、3密 (密集・密閉・密接) の回避や、マスクの着用、手洗いなどの感染予防策を励行し、リスクの高い行動 (大人数の飲食や、マスクなしのカラオケ等) を避けることで、ある程度は感染予防を図ることができていたと考えられる。しかし今後は、変異株の感染力の変化 (デルタ株はアルファ株の1.5倍の感染力を有する可能性がある) も感染状況に影響を与えることを考慮に入れる必要があり、実際に2021年に入って以降はこれまでにない速さで感染が拡大している。

予防接種により、重症化予防効果が期待される。また、どの年齢層でも致死率が抑えられることが報告されており<sup>5)</sup>、今後も従来の感染予防策の徹底を図るとともに、広い年齢層への予防接種を推進することが重要である。

## 文 献

- 1) 国立感染症研究所：IDWR 2021年第29号<注目すべき感染症> 直近の新型コロナウイルス感染症およびRSウイルス感染症の状況、  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2487-idsc/idwr-topic/10564-idwrc-2129c.html> (2021.8.17アクセス)
- 2) European Centre for Disease Prevention and Control.Threat Assessment Brief : Rapid increase of a SARS-CoV-2 variant with multiple spike protein mutations observed in the United Kingdom.December 20,2020.  
<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/SARS-CoV-2-variant-multiple-spike-protein-mutations-United-Kingdom.pdf>. (2021.8.11アクセス)
- 3) 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症 (変異株)

の患者等の発生について、

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15791.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15791.html)  
(2021.8.11 アクセス)

- 4) 岡山県：県内での新型コロナウイルス感染症（変異株）の患者等の発生について、

[https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/703521\\_6300650\\_misc.pdf](https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/703521_6300650_misc.pdf) (2021.8.13 アクセス)

- 5) 厚生労働省：第47回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（令和3年8月11日）資料2-5  
HER-SYSデータに基づく報告

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000818356.pdf> (2021.8.17 アクセス)